

●会期:2月25日(水)～3月2日(月)

佃 眞吾 木工藝展



「栗輪花盤」(62×65×H15cm)

長い歴史と伝統の中で継承されてきた木工作品、その作品をシャープに研ぎ澄まし使えるように漆を掛け耐久性を高めています。さらに木のぬくもり、木目の美しさをしっかりと感じさせ、現代の感性に合った作品を制作されています。

三谷 慎 レリーフ展〈彫刻〉

1953年石川県出身、1976年東京造形大学彫刻科を卒業後、1988年までイタリアに渡り、1979年国立ローマ・アカデミー彫刻科(ファッイーニ教室)を卒業。帰国後は個展を中心に精力的に発表されています。今展では、夜空に輝く星座やギリシャ神話をテーマにした作品や、日本の十二支、梟などの小動物をテーマにしたものなど卓抜のテクニックにより生み出されたブロンズ レリーフ作品のほか、ブローチやアクセサリーも併せて展観いたします。



「Diana - Artemide」(19.5×14.9cm)ブロンズ

3月の予告

●会期:3月4日(水)～9日(月)

色の舟〈日本画〉／小島 直喜 展〈陶芸〉

●会期:3月11日(水)～16日(月)

沢田 光春 展〈洋画〉／吉田 喜彦 展〈陶芸〉

●会期:3月18日(水)～23日(月)

十六代 金谷 五良三郎 展〈金工〉／大庭 英治 展〈洋画〉

●会期:3月25日(水)～30日(月)

佐藤 陽也 展〈洋画〉／鍋田 尚男 展〈硝子〉

ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

横浜高島屋美術画廊のご案内

2月

February 2026



「Morph horse」(38×23×H46cm)

●会期:2月4日(水)～9日(月)

植葉 香澄 展〈陶芸〉

— きりにあらわるかすみかな —

◎美術画廊は毎週火曜、会場準備のため閉廊、最終日は通常通り営業いたします。
また2月16日(月)は午後3時閉廊とさせていただきます。

横浜タカシマヤは2月17日(火) 全館休業日とさせていただきます。

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・
展覧会のご案内



横浜高島屋美術画廊のご案内は
【公式】横浜高島屋美術画廊
のInstagramでも
ご覧いただけます。



●会期:2月4日(水)～9日(月)

植葉香澄展 — きりにあらわるかすみかな — 〈陶芸〉

植葉香澄先生は1978年京都市に生まれ、京都市立芸術大学工芸科で陶芸を学びました。古典的な図柄を現代風にアレンジした華やかな文様を施した陶芸作品で人気を集める気鋭の作家です。異なるルーツの文様と色彩、フォルムが一体となった茶碗、蓋物、香炉などの新作を一堂に展覧します。



「Morph horse」(部分)

細迫 諭 展 — 芳醇なる祭典へ — 〈洋画〉



「海風の風」38×46cm
テンペラ、油彩、パネル、布、箔

細迫先生は、1966年広島県出身、1994年東京藝術大学大学院油画技法材料研究室修了。テンペラと油彩の混合技法による細密描写を施した美しい作品で、個展・グループ展にて積極的に発表を続けています。果実や花など色彩豊かな静物を風景画として組み合わせるなど、細密でありながら不思議な空間、オリジナルな世界観を手のひらより小さい小品から大作まで、40余点を展覧します。

●会期:2月11日(水・祝)～16日(月) ※最終日は午後3時閉廊。

日本ガラス工芸協会「表現するガラス」展

日本ガラス工芸協会(JGAA)は1972年、日本ではじめて創立されたガラス工芸作家の団体です。ガラス作品は宙吹き、切り、サンドブラストなど多彩な技法により制作されています。全国で活躍される協会会員14名による魅力あふれる作品を一堂に展覧します。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

石橋 忠三郎・上島 あい子・神田 正之・桑原 あずさ
白幡 明・多田 えりか・田邊 玲子・長谷川 秀樹
ホムラ モトゾウ・松浦 あかね・文字 志保
山口 浩二・吉井 こころ・カ石 直子

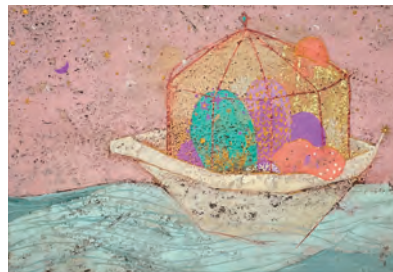
田邊玲子「夢の欠片(ゆめのかけら)」約13.5×H28cm



●会期:2月11日(水・祝)～16日(月) ※最終日は午後3時閉廊。

高橋 芙美子 展 — 風景採集 — 〈日本画〉

東京都出身。2005年東北芸術工科大学大学院日本画領域修了。在学中より美術展出品等活動を始め、日本画の素材を主に使用し空間演出的な大型作品から小品まで幅広く制作をしています。今展では、日常と並行し(隣り合わせで)存在するであろう“何処か”を、春めいた色彩で表現された作品20余点を展覧いたします。



「箱舟」15.8×22.7cm(SM)岩絵具、色土、金箔、金泥

●会期:2月18日(水)～23日(月・祝)

野口 満 一月展 — 自然からの贈り物 — 〈日本画〉

東京藝術大学博士課程日本画研究領域満期、五島美術館蔵国宝源氏物語絵巻模写などで古典技法を学び、国内外で発表を続けている野口先生。今展では「自然からの贈り物」と題し、地元である鎌倉の自然にある草花や空や海といった風景を中心に、自然の恵みをテーマに、折々の風景を丁寧に掬いあげた作品20余点を展覧します。



「道標(みちしるべ)」22.7×16.0cm
(SM)日本画天然岩絵具、秋月和紙
(自然の草を漉きこんだ和紙)

■野口満一月先生によるギャラリートーク ●2月21日(土) ●午後3時から
※ギャラリートークに関する情報は横浜高島屋ホームページをご確認ください。

徳丸 鏡子 展

— みずにめぐる・ひにおどる —
〈陶芸〉

1992年多摩美術大学大学院修士課程絵画科油画専攻陶芸コース修了。2013年タカシマヤ文化基金タカシマヤ美術賞受賞。新たなかたちと水を感じられる釉薬の表現は、いつかどこかで出合ったような感性を呼び起こします。徳丸鏡子先生の世界観をどうぞ高覧ください。

「麗泉鳥」31×27×H43cm

